

ワイン・マニアからパーカー100ポイントゲッターへの道は徹底したこだわりと先見の明、将来有望な畑の選定眼は驚異的

オーナー・ワインメーカーのラッセル・ビーヴァンは、情熱的なワイン・ラバーでウェブにワイン・コラムを書く取材でナバ・ヴァレー、ソノマを訪れ様々な醸造家達と出会う中、2004年にはソノマに移住しビーヴァン・セラーズを設立。自分のテイスティングを信じ、造りたいワインを強く念頭に置き、葡萄の調達から、醸造に至るまで徹底的にこだわる事がポリシー。2013年のプレミア・ナバ・ヴァレー・オークションにてトップ・ロットを獲得(\$75,000/120本)。その後むずかしい2011VTGにもかかわらず、パーカー・ポイント100点を獲得。現在では確定+暫定100点を13ワインで獲得するというワイン・マニアから自身で100点満点ワインを造る離れ業を達成し進化は止まらない。



商品写真	商品名	AVA	タイプ	容量(ml)	摘要	
	Sauvignon Blanc Dry Stack Vineyard ソーヴィニヨン・ブラン ドライ・スタック・ヴィンヤード Bennett Valley, Sonoma		白	2022	750	¥7,900
	Sauvignon Blanc 100% 無濾過の為、霞がかかっています。ベネット・ヴァレー(ソノマ・マウンテンの北小高い丘に囲まれた2003年にAVA認定の小さな谷)、畑名は積み上げられた石垣から命名。冷たい風・霧が滞留、土壌はゴールドリッジ細かい白い砂に軽い火山灰堆積土壌や礫が混在。特別なイタリアン・クローンを低収量で栽培。驚くほどリッチで濃厚。独特な個性。					
	Chardonnay Ritchie Vineyard シャルドネ リッチー・ヴィンヤード Russian River Valley		白	2019	750	¥12,000
	Chardonnay 100% ラシアン・リヴァー・ヴァレーの中心部にあり冷涼な気候。土壌は下層にゴールド・リッジ、古代の海の中にあつた火山性土壌が乗り、独特のアロマ、自然な酸、両者を惹きたてあうリッチを表現。樹齢は40年以上の古樹が多く、著名ワイナリー（オーペール、レイミーが有名）が調達し秀逸なワインを造る。仏産新樽醗酵・熟成。樽が効いたリッチなグラン・クリュ・クラスのシャルドネの味わい。					
	Pinot Noir Petarma Gap Sonoma Coast ピノ・ノワール ペタルマ・ギャップ ソノマ・コースト Sonoma Coast		赤	2021	750	¥14,500
	Pinot Noir 100% ペタルマ・ギャップにある複数の畑のブレンド。涼しいペタルマ・ギャップの中でもやや東の地区の斜面にあり、日中に十分な日照を確保できる畑が中心。仏産樽熟成。自然に凝が落ちるのを待ち、無濾過、人工的な清澄は行わない為、ピノ・ノワールでも不透明な状態、旨味が削られない方法と信じて造っている。なめらかな口当たり、味わいは豪華で濃厚。タンニンはとてもしなやか。濃いブルー系ベリーと美しいオレンジの風味、印象的なスパイシー感と幾重にも重なる複雑味。					
	ONTOGENY Proprietary Red Wine オントジェニー プロプライエタリー・レッド Napa Valley		赤	2019	750	¥20,000
	オントジェニーは生物学用語で「個体発生」ワインが仕上り熟成していく様を「マルチ・ヴィンヤード・ワイン」に命名。Cabernet Sauvignon 主体、残りはMerlotとCabernet Franc シングル・ヴィンヤード・セクション後にブレンド。2019VTGはテンチ・ヴィンヤードが主体。仏産新樽熟成、何度もテイスティングを続け、熟成期間、澀引き、瓶詰のタイミングを計る。ピュアな果実味が前面に出たリッチな味わい。魅力的な旨味とこなれたタンニンが心地良い。					
	Cabernet Sauvignon McGah Vineyard カベルネ・ソーヴィニヨン マクガー・ヴィンヤード Rutherford, Napa Valley		赤	2014	750	¥30,000
	Cabernet Sauvignon ラザフォードの南とオークヴィルの北が接する東側ヴァレーフロアには有数な畑が点在し、マクガー・ヴィンヤードはその中に囲まれています。この畑でパーカー100点を獲得したのは2012年のビーヴァンで、マクガー・ファミリーの名声に大きく貢献。フル・ボディで濃厚・凝縮感が強く、ラザフォード・ダスト的な鉱物のニュアンスと果実の生き生きとしたフレッシュさと長い余韻が非常に魅惑的。5年、10年と熟成の変化が楽しめるワイン。					
	Cabernet Sauvignon Wildfoote Vineyard Vixen Block カベルネ・ソーヴィニヨン ワイルドフート・ヴィンヤード ヴイクセン・ブロック Stags Leap Districts		赤	2017	750	¥34,000
	Cabernet Sauvignon スタッグス・リープ・ディストリクトのほぼ中央部起伏ある9haの畑。2011年に元スクリーミング・イーグルのオーナー、ジェーン・フィリップ女史が購入。ヴィクセン・ブロックは特別な個性が出る。仏産新樽熟成。スタッグス・リープを特徴づける力強いタンニンとは違い、しなやかなタンニンと果実のピュアさがエレガントなワイン。					
	Cabernet Sauvignon Tench Vineyard カベルネ・ソーヴィニヨン テンチ・ヴィンヤード Oakville Napa Valley		赤	2018 2019	750	¥34,000 ¥39,000
	Cabernet Sauvignon 銘醸畑がひしめくオークヴィル西斜面、スクリーミング・イーグルの隣の畑。仏産新樽熟成、何度もテイスティングを続け、熟成期間、澀引き、瓶詰のタイミングを計る。テンチの典型ともいえる非常に力強く、生き生きとした躍動感が特徴。偉大なオークヴィルの東丘陵の鉱物的要素が凝縮されている。フル・ボディで凝縮感が強く、鉱物的なニュアンスと生き生きとした長い余韻が続く。					



ワイン・マニアからパーカー100ポイントゲッターへの道は徹底したこだわりから



オーナー・ワインメーカー
ラッセル・ビーヴァン

パートナー
ヴィクトリア・デ・クレシェンゾ

Bevan ビーヴァン・セラーズ Cellars

ワイン・マニアからパーカー100 ポイント ゲッターへの道は徹底したこだわりから

ソノマ生まれのラッセル・ビーヴァンは、1995 年当時はアメリカ中西部に住みデンタルケア製品の会社に務めており、後に妻となる歯科衛生士のヴィクトリア・デ・クレシェンツォと出会います。二人の共通の趣味はワインでブラインド・テイastingを楽しんでいました。その後多くの情熱的なワイン・ラバーとインターネットを通じて知り合うことになり、趣味が高じてウェブにワイン・コラムを書いたり、その取材やオフ会などを兼ねてナバ・ヴァレー、ソノマへ定期的にツアーを組み、様々なワイナリーを訪れ醸造家達と出会う機会が広がります。

フィリップ・トニーからはワイン造りにおける細部までの配慮を聞き、ボブ・フォーリーがどのようにして葡萄の収穫時期を見極めるのか（ラボに頼らず）を知り、グレッグ・ラフォレからはワイン造りにおいては些細な事でも慎重に検討しなければならないこと（それは例えば小さな決定でも最終的にワインに多大なる影響を及ぼすから）を学びました。

2004 年にはソノマに移住、自宅の庭にシラーを植樹。その年にビーヴァン・セラーズを設立。早速ナバ・ヴァレー、オークヴィルのショーケット・ヴィンヤード（後のピーター・マイケル自社畑オー・パルディス）のカル・ショーケットとの交流により葡萄を調達し、初めてのワイン造りをスタート。ラッセルは正式に醸造学校に行ったり、ワイナリーで研修することもなく、自身のワインを造ることになったわけです。最初の葡萄が運びこまれた時に、ワイン仲間十数人に招集をかけ、素人の手作業で選果を 16 時間もかけて徹底的に未熟な葡萄の粒を取り除くことに注力。もう全員がヘトヘト状態になったその当時の事が今でもワイン造りの大事なポリシーになっている。自分のテイastingを信じ、造りたいワインを強く念頭に置き、葡萄の調達から、醸造に至るまで徹底的にこだわるのがビーヴァン・セラーズのポリシーであり初ヴィンテージから現在に至るまで貫いていることである。

栽培家やワイナリーオーナーと密接な関係を築き、ヴィンテージ毎に畑を増やし、シングル・ヴィンヤード名ワインを中心に造り、数種のマルチ・ヴィンヤードのボルドー品種のレッド・ワインも造る。またソノマやサンタ・リタ・ヒルズからシャルドネ、ソーヴィニオン・ブラン、ピノ・ノワール、シラーも造る。2013 年のプレミア・ナバ・ヴァレー・オークションにてトップ・ロットを獲得（\$75,000/120 本）。同じ年むずかしい 2011VTG にもかかわらず、遂にパーカー・ポイント 100 点を獲得。その後も現在の 2017VTG までに確定+暫定 100 点を 11 ワインで獲得するという素人から 100 点満点ワインを造り上げるという離れ業をやったのけた。造るアイテムは多いが各生産量は非常に少ない為、日本へは限定アイテムのみ輸入ができませんでした。

ソーヴィニオン・ブランは評価サイトのテイastingに出されない希少品。

輸入・販売:株式会社中川ワイン TEL:03-5829-8161



オーナー・ワインメーカー
ラッセル・ビーヴァン

ソーヴィニオン・ブラン ドライ・スタック・ヴィンヤード 2022 Sauvignon Blanc Dry Stack Vineyard

ベネット・ヴァレー ソノマ
Bennett Valley, Sonoma

希望小売価格(税別)

7,900 円

ノン・フィルター（無濾過）の為、霞がかかったように見えます。うまみが削られていない証拠です。

（フランスではコシュ・デュリ、カリフォルニアではオーベールによく見られる傾向です。ソーヴィニオン・ブランでは珍しく、オレンジ・ワイン（果皮浸潤）ではなく、果皮が厚い独特のクローンを低収量で栽培、旨味を大切にした造り方故です。）

品種：ソーヴィニオン・ブラン（イタリアン・クローン）

AVA：ベネット・ヴァレー

ソノマ・マウンテンの北から、サンタ・ローザの街に向かう小高い丘に囲まれた 2003 年に AVA に認定された小さな谷。ベタルマ・ギャップから吹き込む冷たい風と霧が夜から朝にかけて谷に引き込まれるように入り、涼しく長い生育期間をもたらす。

畑：ドライ・スタック・ヴィンヤード

ピーター・ジョーンズ&マリー・ヤング夫妻が所有し小規模ワイナリーに葡萄を供給すると共に、親族で自分たちのブランド「Aesthete/アスティート」をリリース。メジャー品種ではなく、シラー、グルナッシュ、ソーヴィニオン・ブラン、ピノ・ノワールなどを栽培。畑の名前は葡萄栽培をする前から西側の丘のテラス上になった土地に積み上げられた石垣があったことから命名。ヴァレーの北西に位置し、特に冷たい風・霧が滞留する。土壌はゴールドリッジ海洋性の細かい白い砂と粘土に、ソノマ・マウンテンからの軽い火山灰堆積土壌や礫が混在。水はけと保水性のバランスが良く、涼しい年は酸が際立ち、暖かい年はリッチな果実となる。

栽培・醸造：特別に皮の厚いイタリアン・クロンのソーヴィニオン・ブランを低収量で栽培。ステンレスタンクと仏産フランソワ・フレールの樽で醗酵・熟成。無濾過で瓶詰。

味わい：驚くほどリッチで濃厚。キャラメリゼした柑橘類、スイカズラ、オレンジの花、ブリオッシュなどの華やかなブーケがあり、偉大なグラン・クリュの白が持つ質感。他のソーヴィニオン・ブランにはない独特な味わいが印象的、熟成も期待できる。



シャルドネ リッチー・ヴィンヤード 2019 Chardonnay Ritchie Vineyard

ラシラン・リヴァー・ヴァレー ソノマ 希望小売価格(税別)
Russian River Valley, Sonoma 12,000 円

品種：シャルドネ（オールド・ウェンテ・クローン）

畑：リッチー・ヴィンヤード

リッチー・ヴィンヤードはラシアン・リヴァー・ヴァレーの中心部のベンチ・ランドにあり、太平洋岸から霧が流れ込む冷涼な気候です。土壌は下層にゴールド・リッジ。その上にラシアン・リヴァー・ヴァレーでは珍しく古代の海の中にあった火山性土壌が隆起したものが乗り、それ故、毎年このワインには独特のアロマ、自然な酸、両者を惹きたてあうリッチさが表現されます。樹齢は40年以上の古樹が多く、この葡萄を調達できる著名ワイナリーは厳選され、オーベール、レイミーが有名です。

醸造：仏産（フランソワ・フレール、レモンド等、数種類のメーカーを使う）新樽で、樽醗酵・熟成。自然に澱が落ちるのを待ち、無濾過で瓶詰。

味わい：オーナーのラッセル曰く「2019年はパワーハウス！！樽が効いて濃厚！グラン・クリュ・クラスだよ！」

アロマにはキャンプファイヤーや、ローストしたマシュマロがすぐにイメージされ、樽からくるリッチさが魅力的。2019年ヴィンテージはキーライムの様な秀逸な自然の酸がエネルギーを与え、パイナップル、グアヴァ、キーウィなどのトロピカル・フルーツと、ブラッド・オレンジ、タンジェリンなどの濃厚な柑橘系のニュアンスが現れ、長い余韻をもたらします。決して大げさではなく、今すぐ飲んでも笑顔に溢れ、数年の熟成、長い熟成で表情を変えていくでしょう。



ピノ・ノワール ペタルマ・ギャップ ソノマ・コースト 2021 Pinot Noir Petaluma Gap Sonoma Coast

希望小売価格(税別)14,500 円

ノン・フィルター（無濾過）で、人工的な清澄は行わない為、ピノ・ノワールでも不透明な状態。
これはオーナー・ラッセル・ビーヴァンのこだわりで、ピノ・ノワールでもうまみが削られていない方法であると信じて造っている。

品種：ピノ・ノワール100%

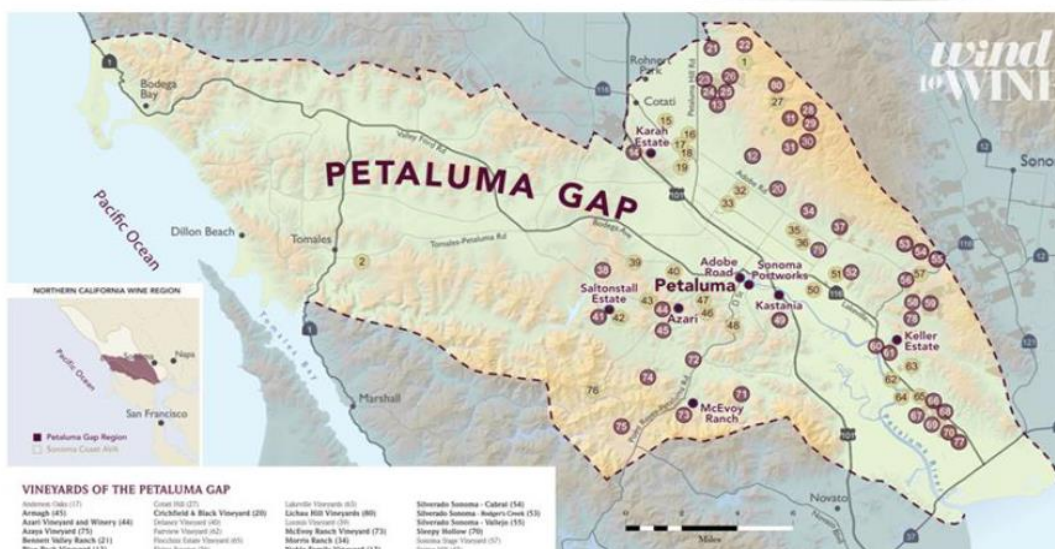
畑：ビーヴァン・セラーズではこれまでに複数の地区のシングル・ヴィンヤードでピノ・ノワールを造ってきた。ソノマだけでなくサンタ・リタ・ヒルズの畑からもリリースした。近年ではペタルマ・ギャップにある複数の畑のブレンドでリリースしている。

ヴィンテージにより畑のセレクションは変わるが、基本的に涼しいペタルマ・ギャップの中でもやや東の地区の斜面にあり、日中に十分な日照を確保できる畑が中心となっている。

醸造：仏産樽（フランソワ・フレール、ガンバ等、数種類のメーカーを使う）で熟成。
自然に澱が落ちるのを待ち、無濾過で瓶詰。

味わい：オーナーのラッセル曰く

「2021年の特徴はその口当たりのなめらかさにある。味わいは豪華で濃厚。タンニンはとてもしなやかで、何度も杯を重ねて飲み続けてしまうほど。カレラ・クローンからの濃いブルー系ベリーと、美しいオレンジの風味、印象的なスパイシー感と幾重にも重なる複雑味があり、非常に魅惑的なピノ・ノワールに仕上がっている。」



Bevan Cellars ビーヴァン・セラーズ

JEB DUNNUCK

Regional Agents: Ontario, British Columbia, Quebec, New Brunswick, Nova Scotia, Prince Edward Island, Newfoundland and Labrador, Yukon, Northwest Territories, Nunavut



Top Values In 2019 Napa Valley Cabernet

RANK WINE

1 2019 Bevan Cellars Ontogeny

オントジェニー2019VTG が
ジェブ・ダナックが選ぶ
トップ・ヴァリュ
ナパ・ヴァレー
カベルネ・ソーヴィニヨン
2019VTG の第一位に選ば
れました。



オーナー・ウインメーカー
ラッセル・ビーヴァン

パートナー
ヴィクトリア・デ・クレシェンツォ

ワイン・マニアから→パーカー100 ポイントゲッターへの道は徹底したこだわりから

ソノマ生まれのラッセル・ビーヴァンは、1995 年当時はアメリカ中西部に住みデンタルケア製品の会社に務めており、後に妻となる歯科衛生士のヴィクトリア・デ・クレシェンツォと出会います。二人の共通の趣味はワインでブラインド・テイスティングを楽しんでいました。その後多くの情熱的なワイン・ラバーとインターネットを通じて知り合うことになり、趣味が高じてウェブにワイン・コラムを書いたり、その取材やオフ会などを兼ねてナパ・ヴァレー、ソノマへ定期的にツアーを組み、様々なワイナリーを訪れ醸造家達と出会う機会が広がります。フィリップ・トニーからはワイン造りにおける細部までの配慮を聞き、ボブ・フォーリーがどのようにして葡萄の収穫時期を見極めるのか（ラボに頼らず）を知り、グレッグ・ラフォレからはワイン造りにおいては些細な事でも慎重に検討しなければならないこと（それは例えば小さな決定でも最終的にワインに多大なる影響を及ぼすから）を学びました。

2004 年にはソノマに移住、自宅の庭にシラーを植樹。その年にビーヴァン・セラーズを設立。早速ナパ・ヴァレー、オークヴィルのショークット・ヴィンヤード（後のピーター・マイケル自社畑オー・パルディス）のカル・ショークットとの交流により葡萄を調達し、初めてのワイン造りをスタート。ラッセルは正式に醸造学校に行ったり、ワイナリーで研修することなく、自身のワインを造ることになったわけです。最初の葡萄が運びこまれた時に、ワイン仲間十数人に招集をかけ、素人の手作業で選果を 16 時間もかけて徹底的に未熟な葡萄の粒を取り除くことに注力。もう全員がヘトヘト状態になったその当時の事が今でもワイン造りの大事なポリシーになっている。自分のテイスティングを信じ、造りたいワインを強く念頭に置き、葡萄の調達から、醸造に至るまで徹底的にこだわるのがビーヴァン・セラーズのポリシーであり初ヴィンテージから現在に至るまで貫いていることである。

栽培家やワイナリーオーナーと密接な関係を築き、ヴィンテージ毎に畑を増やし、シングル・ヴィンヤード名ワインを中心に造り、数種のマルチ・ヴィンヤードのボルドー品種のレッド・ワインも造る。またソノマやサンタ・リタ・ヒルズからシャルドネ、ソーヴィニヨン・ブラン、ピノ・ノワール、シラーも造る。2013 年のプレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにてトップ・ロットを獲得（\$75,000/120 本）。同じ年むずかしい 2011VTG にもかかわらず、遂にパーカー・ポイント 100 点を獲得。その後も現在の 2017VTG までに確定+暫定 100 点を 11 ワインで獲得するという素人から 100 点満点ワインを造り上げるという離れ業をやったのけた。造るアイテムは多いが各生産量は非常に少ない為、日本へは限定アイテムのみ輸入している。

オントジェニー プロプライエタリー・レッド・ワイン ナパ・ヴァレー 希望小売価格(税別)

2019 ONTOGENY Proprietary Red Wine Napa Valley 20,000 円

オントジェニーは生物学用語で「個体発生」生物が受精（受粉）によって発生を開始して成体になるまでの過程を表し、ワインが仕上がり熟成していく様をビーヴァンの「マルチ・ヴィンヤード・ワイン」に命名。

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン主体、残りはメルロ、カベルネ・フラン

畑：ビーヴァン・セラーズが造るボルドー品種のシングル・ヴィンヤードからのマルチ・ヴィンヤード・ブレンド

2019 年は Tench Vineyard (テッチ・ヴィンヤード/オークヴィル) のカベルネ・ソーヴィニヨンが主体で濃厚な果実味を引き出し、他の畑のカベルネ・フラン、メルロが葉巻やダーク・チョコレートニュアンスを惹きだしている。ビーヴァンで造られるシングル・ヴィンヤードから最初にこのワイン用のキュヴェを選ぶ。

醸造：除梗された葡萄は粒毎に非常に厳しく選果を行い、未熟・過熟の粒は全部より分ける。

フランス産新樽にて熟成 (Remond, Francois Freres, Darnajou, Taransaud)

平均で 2 週に一回のペースでテイスティングを続け、熟成期間、澱引き、瓶詰のタイミングを計る

味わい：2019 年は非常に力強く濃厚な果実味を引き出している。2018 年よりカベルネ・ソーヴィニヨンの比率が高く、テッチ・ヴィンヤードの岩がごろごろしたブロックをメインに使っている。そこに加わるメルロ、カベルネ・フランが最高のバランスを醸し出している。クレーム・ド・カシスやラズベリーのニュアンスが濃厚に感じられ、華やかで、魅力的。口当たりは滑らかでオイリー、口の中にピュアな果実味が広がり、フル・ボディでリッチながら品の良いバランスを整えている。98P Jeb Dunnuck (ジェブ・ダナック・コム) dated March 2022 by Jeb Dunnuck

輸入・販売：株式会社中川ワイン TEL：03-5829-8161



カベルネ・ソーヴィニヨン ワイルドフート ヴィンヤード
2017 Cabernet Sauvignon Wildfoote Vineyard

新商品

ウィクセン・ブロック スタッグス・リープ・ディストリクト ナバ・ヴァレー
Vixen Block, Stags Leap District Napa Valley

希望小売価格(税別)
34,000 円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン

畑：ワイルドフート・ヴィンヤード（下図）

スタッグス・リープ・ディストリクトのほぼ中央部、シルバード・トレイルの東に位置し起伏ある 46ha の丘（多くは原生林のまま）に、9ha 植樹されている。2011 年に元スクリーミング・イーグルのオーナー、ジェーン・フィリップ女史が購入し、畑の創業者の苗字・フートと原生林に住むワイルド・アニマルに因んで「ワイルドフート」と改名。所得後、ベストなクローンに改植し、カベルネ・ソーヴィニヨン主体で、少量のメルロ、プティ・ヴェルド、カベルネ・フランを植樹。ビーヴァンが使うウィクセン・ブロックは特別な個性が出るカベルネ・ソーヴィニヨンの区画。

醸造：除梗された葡萄は粒毎に非常に厳しく選果を行い、未熟・過熟の粒は全部より分ける。

フランス産新樽にて熟成(Darnajou, Taransaud)

平均で 2 週に一回のペースでテイastingを

続け、熟成期間、濃引き、瓶詰のタイミングを計る

味わい：スタッグス・リープを特徴づける力強いタンニンとは別の特徴を兼ね備えたワイン。薫り高い花の香り、様々なベリーがミックスした華やかな味わい、火山性土壌を思い起こさせる鉱物的な岩・石を感じさせる硬さ、柔らかい口当たりでブルー&ブラック・ベリーの甘い果実感が印象的なしなやかなタンニンと果実のピュアさがエレガントな余韻となり非常に長く続く。

95-97P Jeb Dunnuck (ジェブ・ダナック・コム)にて高い評価。

★パーカーの愛弟子、ワイン・アドヴォケイトより独立し、自身のワイン評価サイトを設立。

91-93P Parker Point, Wine Advocate Mid-Oct. 2018 New Release

by Lisa Perrotti-Brown



初入荷 蔵出しバック・ヴィンテージ（2020年5月）

カベルネ・ソーヴィニヨン マクガー・ヴィンヤード
2014 Cabernet Sauvignon McGah Vineyard

ラザフォード ナバ・ヴァレー
Rutherford Napa Valley

希望小売価格(税別)
30,000 円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン

畑：マクガー・ヴィンヤード（下図）

ラザフォードの南、オークヴィルの北と接する東側ヴァレー・フロアにはベクストファーが所有する有数の畑が点在しています。マクガー・ファミリーの自社畑はそこに囲まれるよう位置します。1946 年ボストン・レッド・ソックスがア・リーグを制覇した際の優勝メンバーの 1 人でもあるエディ・マクガーが 1990 年にラザフォードに購入した

26ha の 2 区画に分かれる畑。現在は孫にあたるシェラット・マクガーが引き継ぎ、葡萄を著名ワイナリーに供給しています。2005 年より元詰めワインを始め、現在では「スカーレット」のブランド名でリリースしています。マクガー名のシングル・ヴィンヤードでパーカー 100 点を獲得したのは 2012 年のビーヴァンで、マクガー・ファミリーの名声にビーヴァンは大きく貢献しています。

収穫：2014 年 10 月 25 日（遅い収穫）

醸造：仏産新樽にて熟成(Taransaud, Darnajou)

ロバート・パーカー Jr. の 2016 年時点でのコメント非常に濃い紫色を帯び、黒系ベリー、カシス、白い花、森林のニュアンス、香ばしい炭の香りが立ち上がる。フル・ボディで濃厚・凝縮感が強く、ラザフォード・ダスト的な鉱物のニュアンスと果実の生き生きとしたフレッシュさと長い余韻が非常に魅惑的。5 年、10 年と熟成の変化が楽しいワイン。125 ケースのみ。Parker Point 95P Wine Advocate

issue #227 Oct. 29th 2016 by Robert M. Parker, Jr.

ラザフォードAVA南側の畑・区画図



Bevan ビーヴァン・セラーズ Cellars

ワイン・マニアからパーカー100ポイント ゲッターへの道は徹底したこだわりから

ソノマ生まれのラッセル・ビーヴァンは、1995年当時
はアメリカ中西部に住みデンタルケア製品の会社を務
めており、後に妻となる歯科衛生士のヴィクトリア・
デ・クレシェンツォと出会います。二人の共通の趣味
はワインでブラインド・テイスティングを楽しんでい
ました。その後多くの情熱的なワイン・ラバーとイン
ターネットを通じて知り合うことになり、趣味が高じ
てウェブにワイン・コラムを書いたり、その取材やオ
フ会などを兼ねてナパ・ヴァレー、ソノマへ定期的
にツアーを組み、様々なワイナリーを訪れ醸造家達と
出会う機会が広がります。

フィリップ・トニーからはワイン造りにおける細部ま
での配慮を聞き、ボブ・フォーリーがどのようにして
葡萄の収穫時期を見極めるのか（ラボに頼らず）を知
り、グレッグ・ラフォレからはワイン造りにおいては
些細な事でも慎重に検討しなければならないこと（そ
れは例えば小さな決定でも最終的にワインに多大なる影
響を及ぼすから）を学びました。

2004年にはソノマに移住、自宅の庭にシラーを植樹。
その年にビーヴァン・セラーズを設立。早速ナパ・ヴ
ァレー、オークヴィルのショークット・ヴィンヤード
（後のピーター・マイケル自社畑オー・パルディス）
のカル・ショークットとの交流により葡萄を調達し、
初めてのワイン造りをスタート。ラッセルは正式に醸
造学校に行ったり、ワイナリーで研修することもな
く、自身のワインを造ることになったわけです。最初
の葡萄が運びこまれた時に、ワイン仲間十数人に招集
をかけ、素人の手作業で選果を16時間もかけて徹底的
に未熟な葡萄の粒を取り除くことに注力。もう全員が
ヘトヘト状態になったその当時の事が今でもワイン造
りの大事なポリシーになっている。自分のテイスティ
ングを信じ、造りたいワインを強く念頭に置き、葡萄
の調達から、醸造に至るまで徹底的にこだわるのが
ビーヴァン・セラーズのポリシーであり初ヴィンテー
ジから現在に至るまで貫いていることである。

栽培家やワイナリーオーナーと密接な関係を築き、ヴ
ィンテージ毎に畑を増やし、シングル・ヴィンヤード
名ワインを中心に造り、数種のマルチ・ヴィンヤード
のボルドー品種のレッド・ワインも造る。またソノマ
やサンタ・リタ・ヒルズからシャルドネ、ソーヴィニ
ヨン・ブラン、ピノ・ノワール、シラーも造る。2013
年のプレミア・ナパ・ヴァレー・オークションにてト
ップ・ロットを獲得（\$75,000/120本）。同じ年むずかし
い2011VTGにもかかわらず、遂にパーカー・ポイント
100点を獲得。その後も現在の2017VTGまでに確定・暫
定100点を11ワインで獲得するという素人から100点
満点ワインを造り上げるという離れ業をやったの
が、造るアイテムは多いが各生産量は非常に少ない
為、日本へは限定アイテムのみ輸入ができませんでした。

株式会社 中川ワイン TEL 03-3631-7979 FAX 03-3631-7980



オーナー・ワインメーカー
ラッセル・ビーヴァン

パートナー
ヴィクトリア・デ・クレシェンツォ

2018 カベルネ・ソーヴィニヨン テンチ・ヴィンヤード
Cabernet Sauvignon Tench Vineyard
オークヴィル ナパ・ヴァレー 希望小売価格(税別)
Oakville Napa Valley 34,000 円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン

畑：テンチ・ヴィンヤード（下図）銘醸畑がひしめく
オークヴィル東斜面、スクリーミング・イーグルの隣

醸造：除梗された葡萄は粒毎に非常に厳しく選果を
行い、未熟・過熟の粒は全部より分ける。
フランス産新樽にて熟成(Darnajou, Taransaud)
平均で2週に一回のペースでテイスティングを
続け、熟成期間、澱引き、瓶詰のタイミングを計る

味わい：テンチの典型ともいえる非常に力強く、
まさにモンスターと言える程、筋肉質で濃厚さが特徴。
その大物さゆえに魅惑的で、他と違う驚きと一緒に
楽しむ仲間と分かち合える。
偉大なるオークヴィルの東丘陵の鉱物的要素が凝縮
されている。深く濃い黒紫色、土っぽさ、赤味肉、
血の香と深煎りしたモカ・コーヒー、プラム、クレ
ーム・ド・カシスに、様々なスパイスボックス、
ミンチした肉アロマが渾然一体となっている。
フル・ボディで凝縮感が強く、鉱物的なニュアンス
と生き生きとした長い余韻が続く。

99P Jeb Dunnuck, 96+P Parker Point Feb. 2021 Lisa



カベルネ・ソーヴィニヨン テンチ・ヴィンヤード
2019 Cabernet Sauvignon Tench Vineyard
オークヴィル ナパ・ヴァレー 希望小売価格(税別)
Oakville Napa Valley 39,000 円

品種：カベルネ・ソーヴィニヨン

畑：テンチ・ヴィンヤード（下図）銘醸畑がひしめく
オークヴィル東斜面、スクリーミング・イーグルの隣

醸造：除梗された葡萄は粒毎に非常に厳しく選果を
行い、未熟・過熟の粒は全部より分ける。

フランス産新樽にて熟成(Darnajou, Taransaud)

平均で2週に一回のペースでテイastingを

続け、熟成期間、澱引き、瓶詰のタイミングを計る

味わい：テンチの典型ともいえる非常に力強く、
まさにモンスターと言える程、筋肉質で濃厚さが特徴。
その大物さゆえに魅惑的で、他と違う驚きを一緒に
楽しむ仲間と分かち合える。

偉大なるオークヴィルの東丘陵の鉱物的要素が凝縮
されている。深く濃い黒紫色、土っぽさ、赤味肉、
血の香と深煎りしたモカ・コーヒー、プラム、クレ
ーム・ド・カシスに、様々なスパイスボックス、
ミンチした肉アロマが渾然一体となっている。

フル・ボディで凝縮感が強く、鉱物的なニュアンス
と生き生きとした長い余韻が続く。

98P Parker Point, May 2022 by Joe Czerwinski

